

# 阿部和建築文化研究所

登録文化財

## 小野寺家住宅 100年の年輪

宮城県気仙沼市小野寺家  
主屋修復工事報告2004年



### 小野寺家住宅 100年の年輪

本文	
第一章 小野寺家住宅の概要	6
1-1 小野寺家の位置と宅地の環境	6
1-2 小野寺家の由緒	7
1-3 小野寺家住宅主屋の特徴と位置づけ	8
1-4 小野寺家住宅主屋の修復工事	9
1-5 修復工事に関わった人々	10
第二章 小野寺家住宅主屋の調査	11
2-1 建築当初と昭和35年大改造との間	11
2-2 番付と改造部分の復原	14
2-3 平面計画法	15
2-4 主屋の建築年代	16
第三章 付属屋の変遷	18
3-1 小野寺家住宅の付属屋 [小野寺家の古写真]	18
3-2 小野寺家住宅古写真の編年	29
第四章 歴史を活かした寒くない家の修復設計施工	33
4-1 設計の基本方針と現状変更	33
4-2 耐震性の確保	34
4-3 設計と監理の実際	35
第五章 居住者の住みごころ	42
結 章 歴史を活かした寒くない家の夢	46
写真	48~88
図面	89~119

昭和16年早春の小野寺家全景 写真左上に主屋、その左右にマヤとコエ、コエの前方に桑小屋、主屋前下手に切妻造の側（？）がある。写真右下に木小屋が写る。これら四棟はすべて古棟葺きである。主屋の屋根は昭和35年に茅葺から入母屋造瓦葺きへ変更。桑小屋は離れ棟に建て替えられた。また、コエは二階を増設しスレート葺になった。写真右下から下に八海川の谷が流れ、そこからつづら折の小径が家に通じている。

昭和16年早春の小野寺家全景（1941） 修復工事報告書表紙より



平成16年改修後（2004）令和4年秋の小野寺家主屋（2022）

昭和35年の改修で主屋は棧瓦葺きとなる（1960）

小野寺英一さんは高齢のご両親のために建築後100年に迫る寒くて住みにくい古民家を何とかしたいと考えていました。建替えを許さないご両親の意見を大事にしたいため、どうしたものかと悩んでいた矢先の1月早朝、お母様が外便所から戻る途中の屋外で倒れ、急逝してしまわれたのです。

「父のためにもこの寒さを何とかせねば」そんな折、設計者安井妙子を知り、大規模な高断熱高気密補強を伴う修復を執り行うこととなりました。

本書は阿部和建築文化研究所による第1冊目の修理工事報告書です。